



Remote Access のためのサービス検出の設定

- [サービス検出の要件 \(1 ページ\)](#)

サービス検出の要件

サービスディスカバリにより、クライアントは自動的に企業のネットワークでサービスを検出することができます。Expressway for Mobile and Remote Access を使用すると、企業のネットワーク上のサービスにアクセスできます。クライアントが Expressway for Mobile and Remote Access 経由で接続し、サービスを検出するには、次の要件が満たされている必要があります。

- DNS の要件
- 証明書の要件
- 外部 SRV `_collab-edge` のテスト

DNS 要件

Remote Access によるサービス検出のための DNS 要件は次のとおりです。

- 外部 DNS サーバで `_collab-edge` DNS SRV レコードを設定します。
- 内部ネーム サーバで `_cisco-uds` DNS SRV レコードを設定します。
- オプションで、IM and Presence サーバと音声サーバに異なるドメインを使用するハイブリッドクラウドベースの展開の場合、`_collab-edge` レコードで DNS サーバを検索するように音声サービス ドメインを設定します。

証明書の要件

Remote Access を設定する前に、Cisco VCS Expressway と Cisco Expressway-E のサーバ証明書をダウンロードします。このサーバ証明書は、HTTP と XMPP の両方に使用されます。

Cisco VCS Expressway 証明書の設定の詳細については、『[Configuring Certificates on Cisco VCS Expressway](#)』を参照してください。

_collab-edge SRV レコードのテスト

ステップ 1 コマンドプロンプトを開きます。

ステップ 2 `nslookup` と入力します。

デフォルトの DNS サーバおよびアドレスが表示されます。これが想定された DNS サーバであることを確認してください。

ステップ 3 `set type=SRV` と入力します。

ステップ 4 各 SRV レコードの名前を入力します。

例： `_collab-edge.exampledomain`

- サーバとアドレスが表示される：SRV レコードにアクセスできます。
 - 「`_collab-edge.exampledomain: Non-existent domain`」と表示される：SRV レコードに関する問題が存在します。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。